

## IV 研究活動

農場では、教員と技術職員が一体となってフィールド農学に関わる様々な研究および技術開発を推進している。また、農場は、フィールド農学の研究施設として、学部教員あるいは学部学生や大学院生の研究に広く活用され、その成果は分子生物学から農業現場直結型まで広い範囲に亘っている。

### 1 研究課題

#### 1) 農場の研究課題

- ・ヤムイモの品種特性に関する研究
- ・液肥がサツマイモの生育に及ぼす影響
- ・ケナフおよびロゼル栽培により種子、繊維を収穫（比較環境農学：志水教授との共同研究）
- ・ヤムイモおよびキャッサバの遺伝資源保存
- ・ロゼル及びオクラの栽培研究
- ・パッションフルーツの機能性成分に関する研究
- ・指宿温泉水が野菜類の生育に与える影響に関する研究
- ・雲南百薬の栽培試験（比較環境農学：志水教授との共同研究）
- ・黒毛和種に対する飼養管理のストレス評価
- ・野生キュウシュウジカの骨格筋および消化器官の形態的特性
- ・肥育牛へのモネンシン代替物質の給与試験
- ・草飼料100%で飼養した育成牛の発育特性
- ・黒毛和種の放牧肥育に関する研究
- ・口之島野生化牛雄の骨格筋特性に関する研究
- ・飼料添加物モネンシンの代替物質として植物由来製剤ターボビブ（フジタ薬品）の給与効果
- ・胎児期の栄養制限が黒毛和種子牛の代謝に及ぼす影響

#### 2) 農場施設を利用した学部研究室の研究課題

##### (1) 学内農場農事部圃場を利用した研究課題

###### (作物学研究室)

- ・カンショの栽培法、生産性および品質に関する研究
- ・水稻の栽培環境反応に関する研究
- ・水稻の生育診断技術に関する研究（環境情報システム学研究室との共同研究）

###### (熱帯作物学研究室)

- ・サトウキビおよびトウガラシの栽培技術
- ・アフリカ等稲の成育比較
- ・イネのStay Green解析のための生育比較
- ・トウガラシおよびキャッサバの栽培試験

###### (比較環境農学研究室)

- ・ケナフ栽培による種子、繊維の収穫や実習で行う紙すき材料の確保
- ・サボテン（ウチワサボテン、柱サボテンなど）を栽培し、鹿兒島市での適用性を検討する。
- ・ロゼル栽培研究
- ・寝太郎スイカの栽培研究
- ・ロゼル栽培研究
- ・伝統サツマイモ栽培研究
- ・伝統野菜種子の採取
- ・マメ科作物の窒素循環に関する研究・伝統野菜に関する研究（遠城教授との共同研究）
- ・ヤムイモ類の窒素循環に関する研究（遠城教授との共同研究）

###### (植物育種学研究室)

- ・水稻の農業形質、生殖隔離、耐病性に関する遺伝分析（先端科学研究推進センター：田浦教授との共同研究）
- ・アワの形態調査と品種保存
- ・ヤムイモ、サトイモとカンゾウの多様性に関する遺伝的研究・サトウキビの糖蓄積に関する品種間差異（附属農場：遠城教授、朴准教授との共同研究）

#### Ⅳ 研究活動

- ・ヤムイモ，ヤムビーン，ダイズとカンゾウの多様性に関する遺伝的研究・サトウキビの糖蓄積に関する品種間差異（同上）
- ・長命草の栽培に関する研究（比較環境農学：志水教授との共同研究）

##### （果樹園芸学研究室）

- ・ポンカン，アボカド，ブルーベリー，実験材料の栽培
- ・極早生ウンシュウ，ポンカン，レイシの栽培試験
- ・マスカディンブドウの保存

##### （蔬菜園芸学研究室）

- ・桜島ダイコンに関する研究
- ・ヤムイモ・ウコン類の繁殖および地下部肥大に関する研究（農場：遠城教授，朴准教授との共同研究）
- ・パッションフルーツの果実品質に関する研究（農場：朴准教授との共同研究）

##### （観賞園芸学研究室）

- ・ツバキ属植物の系統発生並びに新花色の育種，及びヤギによるツバキ園管理（共同研究）
- ・ツバキ属植物の花色遺伝，及びガチョウなどによるツバキ園管理（共同研究）
- ・トルコギキョウの新花色の育種
- ・トルコギキョウの花形・花色の育種と切り花生産
- ・野菜の土壌成分を変化させての成育調査

##### （害虫学研究室）

- ・昆虫ウイルスによるチャノホソガの防除
- ・露地野菜における土着天敵を利用した害虫防除体系の確立
- ・野菜に発生するハダニ類およびそれらの天敵の生態

##### （家畜管理学研究室）

- ・地域未利用資源の飼料化に関する研究：サイレージ調製および消化・代謝試験，嗜好試験など
- ・自給飼料による舎飼いヤギの飼養体系確立に向けた研究

##### （土壌科学研究室）

- ・土壌・植物根圏における揮発性有機化合物（VOC）の網羅的解析による微生物群集の評価

##### （植物栄養・肥料学研究室）

- ・マイナー作物の栽培技術・施肥管理についての検討
- ・各種研究用遺伝資源の維持・保存のための作物栽培
- ・降雨に含まれる微量成分（過塩素酸等）の含有濃度の把握
- ・エリアンサスの土壌肥料学的研究

##### （焼酎製造学研究室）

- ・発酵食品製造実習におけるサツマイモの苗床

##### （農業環境システム学研究室）

- ・環境保全型雑草制御に関する研究

##### （環境情報システム学研究室）

- ・水稻の生育診断技術に関する研究（デジタル分光カメラによる連続生育監視システム開発，イネ生育環境の観測及びモデル評価）（作物学研究室と共同研究）

##### （遺伝子実験施設）

- ・ワールドイネコレクションの栽培実験
- ・アジア産イネの形質調査と品種保存

## （2）唐湊果樹園を利用した研究課題

##### （果樹園芸学研究室）

- ・鹿児島在来カンキツの特性解明と利用に関する研究
- ・カンキツ類の進化および種分化に関する研究
- ・高品質カンキツ果実生産の条件解明
- ・アセロラの栽培・育種技術の改良
- ・アボカド品種の特性解明
- ・鹿児島県におけるアーモンドの生育特性の調査
- ・中間台木‘ひめこなつ’に高接ぎした少低温要求性モモ品種‘KU-PP1’および‘KU-PP2’の生育に関する研究並びに既存品種との比較試験
- ・少低温要求性モモ品種の生育特性の解明

(3) 指宿植物試験場を利用した研究課題

(果樹園芸学研究室)

- ・アセロラの栽培・育種技術の改良
- ・南九州におけるマンゴーの生育特性に関する研究
- ・ライチの品種特定に関する研究

(森林保護学)

- ・クサトベラにおける種子散布に関わる果実二型の遺伝様式の解明

(南西島弧地震火山研究所)

- ・阿多カルデラ西部における地震活動の研究

(4) 入来牧場を利用した研究課題

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖生理・人工繁殖と遺伝子改変家畜作出の研究

(家畜管理学研究室)

- ・山羊放牧による草地の植生管理
- ・シカ出現状況に関する調査

(5) 学内農場畜産部を利用した研究課題

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖生理・人工繁殖と遺伝子改変家畜作出に関する研究

(家畜育種学研究室)

- ・家畜・家禽に関する遺伝育種学的研究

(家畜管理学研究室)

- ・家畜の行動管理に関する研究
- ・未利用資源の飼料化に関する研究

(栄養生化学・飼料化学研究室)

- ・脂質代謝改善効果を持つ機能性食品の研究
- ・腸内環境の改善効果を持つ機能性食品の研究
- ・未利用資源の家畜飼料化利用を目指した研究

## 2 研究成果

### 1) 農場 (2021)

(1) 論文

(2) 口頭・ポスター発表

(3) 著書

(4) 報告書

(5) 商業誌

(6) 特許

(7) 博士論文

(8) 修士論文

- 桑原佳大, 2021. 鹿児島県大隅半島南部特産の香酸カンキツ「辺塚ダイダイ」の果実特性と遺伝的背景の解明  
田吹 暁, 2021. パッションフルーツの茎頂培養によるウイルスフリー苗の作成に関する研究

## (9) 卒業論文

- 宇都花奈. 2021. パッションフルーツ種子における種皮色の違いとポリフェノール含量  
 長 大輔. 2021. トゲイモの塊茎から伸長した芽を利用した増殖技術について  
 湯田大智. 2021. ローゼル (*Hibiscus sabdariffa*) 葉のポリフェノールに関する研究  
 PHAM QUYNH HUONG. 2021. 塩ストレスがトマトの成長, 生産量および品質に及ぼす影響  
 山内瑠子. 2021. トゲイモ (*Dioscorea esculenta* L.) における種イモの切除時期が生育に及ぼす影響  
 石内海帆. 2021. 鹿児島県における窒素固定関連遺伝子を導入したダイズ品種・育成世代間の収量  
 梶島千春. 2021. 新規バイオスティミュラントが4種のイモの収量に及ぼす影響  
 有村妃織. 2021. バイオスティミュラント資材の施用と土壤水分の違いがサトイモの生育および収量に及ぼす影響  
 川原悠生. 2021. 遮光処理がハンダマ (*Gynura bicolor*) の収量およびポリフェノール含量に及ぼす影響

## 2) 農場を利用した研究成果 (2021年1月~12月)

## (1) 論文

- Simon Peter Dom, Makoto Ikenaga, Sharon Yu Ling Lau, Son Radu, Frazer Midot, Mui Lan Yap, Mei-Yee Chin, Mei Lieng Lo, Mui Sie Jee, Nagamitsu Maie, Lulie Melling. 2021. Linking prokaryotic community composition to carbon biogeochemical cycling across a tropical peat dome in Sarawak, Malaysia. *Scientific Reports* 11 (1). article number 6416  
 Msami Jessey Anderson, Kawaguchi Yoshiki, Ichitani Katsuyuki, Taura Satoru. 2021. Linkage analysis of rice bacterial blight resistance gene xa20 in XM6, a mutant line from IR24. *Breeding Science*: 71: 144-154. 2021  
 Yamamoto, M., Kanmera, S., Nishizawa, Y., Harada, K., Kozai, N., Ishihata, K. 2021. Pollen fertility of acerola (*Malpighia glabra* L.). *Tropical Agriculture and Development*, 65 (2), 122-124.  
 Yamamoto, M., Tani, K., Kozai, N. 2021. The fruits and genetic characteristics of the Kuroshima-mikan or Shimamikan (*Citrus* sp.) grown on islands in Kagoshima Prefecture, Japan. *Tropical Agriculture and Development*, 65 (4), 169-176.  
 Yamamoto, M., Tani, K., Kozai, N. 2021. The morphological and genetic characteristics of local citrus grown on the Ryukyu Islands, Japan. *Tropical Agriculture and Development*, 65 (4), 206-215.  
 Jessey Anderson Msami, Yoshiki Kawaguchi, Katsuyuki Ichitani, Satoru Taura. February 25, 2021. Linkage analysis of rice bacterial blight resistance gene xa20 in XM6, a mutant line from IR24. *Breeding Science*, Vol. 71 (2021), No. 2  
 山本雅史・寺本さゆり・喜多正幸・北島 宣・川口昭二・福留弘康・広瀬 潤・西澤優・香西直子. 2021. 鹿児島県島嶼部および沖縄県の在来カンキツの調査とその保存. 鹿児島大学農学部附属農場研究報告, 42: 7-15.  
 黒瀬絵里奈・志水勝好, 2021, 葉や土壤に付着した桜島の降灰が栽培作物の生育に及ぼす影響. 鹿児島大学農場研報 4, 17-23.

## (2) 口頭・ポスター発表

- Makoto Ikenaga, 2021. Steroidobacter agariperforans sp. nov. and S. agaridevorans sp. nov., novel agar-degrading bacteria isolated from agricultural soils, are enhanced by the diffusible metabolites produced by Rhizobiales bacteria, The 2nd International Conference on Sustainable Aquatic Resources (online conference), Keynote Speaker  
 Shameel Shah, Hiroaki Tsuneyoshi, Katsuyuki Ichitani, Satoru Taura. 2021. QTL analysis related to lesion length elongation to *Xanthomonas oryzae* pv. *oryzae* pathogen in rice variety Koshihikari. 第16回九州育種談話会  
 元山ちひろ・大島寛史・米澤 徹・前島理奈・宝泉孝輔・清水圭一・橋本文雄. 2021. デルフィニジンを蓄積する形質転換アサガオによるトルコギキョウF3'5'H遺伝子の機能解析. 園芸学会秋季大会, 園芸学研究 (岐阜大学), 第20巻 (別冊2・花きP147, pp362)  
 前田幸暉浩・高橋龍成・一谷勝之. 2021. 粉数の限界を目指して, パケツイネ選手権への取り組み2021. 第16回九州育種談話会  
 潟山祐樹・田浦 悟・一谷勝之. 2021. イオンビーム照射によって誘発されたイネ白葉枯病新規抵抗性系統の作出. 第16回九州育種談話会  
 潟山祐樹・穴井豊昭・志水勝好・田浦 悟・一谷勝之. 2021. xa42によるイネ白葉枯病抵抗性は生殖成長開始後に増強される. 日本育種学会第140回講演会  
 Shameel Shah・恒吉宏昭・一谷勝之・田浦 悟. イネ品種コシヒカリのイネ白葉枯病に対する圃場抵抗性. 日本育種学会第140回講演会  
 高間梨央・一谷勝之・久保山勉. 2021. リアルタイムPCRを用いた日本晴とKasalathのイネ品種間雑種幼苗期におけるオルガネラゲノムと18S rDNAのコピー数の検討. 日本育種学会第139回講演会  
 一谷勝之・市川 真・豊元大希・田浦 悟・ヘンリー ロバート・石川隆二. 2021. オーストラリア産野生イネと

- アジア栽培イネとの交雑後代で観察された種子半不稔による分離の歪み. 日本育種学会第139回講演会  
 木本朝美・津田勝男・坂巻祥孝. 2021. ツマジロクサヨトウ *Spodoptera frugiperda* に病原性を有する核多角体病  
 ウイルスの探索・同定. 九州病害虫研究会第100回研究発表会 (九州病害虫研究会報67: 35-36)  
 ゲン タイン フォン・津田勝男・坂巻祥孝. 2021. 有機チャ園における蒸気防除がチャノミドリヒメヨコバイに  
 与える影響の検証.九州・沖縄昆虫研究会2021年度大会. (Pulex 100: 856-857)  
 山本雅史・谷 佳那美・香西直子. 2021. 鹿児島県の屋久島および黒島で生育するシクワサー. 日本熱帯農  
 業学会第130回講演会  
 福田和俊・島田温史・越替大地・山内正仁・香西直子・山本雅史. 2021. 有機質肥料の施肥がポンカン  
 の果実品質および収量に及ぼす影響. 園芸学会令和3年度秋季大会  
 山本雅史・窪田瑛水・香西直子. 2021. 鹿児島県大隅半島南部の特産カンキツである辺塚ダイダイの特性. 園芸  
 学会令和3年度秋季大会  
 山本雅史・谷 佳那美・香西直子. 2021. 南西諸島在来カンキツの形態的および遺伝的特性. 園芸学会令和3年  
 度春季大会  
 山本雅史・谷 佳那美・香西直子. 2021. 鹿児島県島嶼部の在来カンキツであるクロシマミカン (シマミカン)  
 の果実および遺伝的特性. 日本熱帯農業学会第129回講演会  
 志水勝好・小針 統・幅野明正・中村啓彦・内海真生. 2021. 高光合成植物ケナフを用いた二酸化炭素  
 深海貯蔵. 環境科学会2021年会  
 瀧山祐樹, 穴井豊昭, 志水勝好, 田浦 悟, 一谷勝之. 2021. xa42によるイネ白葉枯病抵抗性は生殖成長開始後  
 に増強される. 日本育種学会第140回講演会.  
 樗木直也・小田口菜由・豊福明莉・武田ひなた・赤木 功. 下水処理水を用いた水耕栽培による低カリウム野菜  
 栽培の試み. 日本土壌肥料学会2021年度北海道大会 (2021年9月14~16日, オンライン開催)  
 赤木 功・長田萌里・森 真由美・樗木直也. 還元 (湛水) による土壌臭素の可溶化とその溶脱量. 日本土壌肥料  
 学会九州支部例会 (2021年12月7~8日, オンライン開催)

(3) 著書

(4) 報告書

- 赤木 功・福丸瑛里紗・樗木直也. 2021. ネコブセンチュウの初期密度がオクラの生育および収量に及ぼす影響.  
 鹿児島大学農学部附属農場研究報告. 42. 1-6.

(5) 商業誌

(6) 特許

(7) 博士論文

(8) 修士論文

- MSAMI JESSEY ANDERSON. 2021. Genetic analysis of resistance gene to bacterial blight (*Xanthomonas oryzae* pv. *oryzae*) in rice  
 加藤惟喬. 2021. Bradyrhizobium属土着ダイズ根粒菌遺伝子の選択的増幅法の検討並びに土着および根粒形成ダイズ根粒菌の構成株に関する研究  
 伊藤 瑞. 2021. 露地ナス圃場におけるニジュウヤホシテントウの天敵となるクモ類の胃内容物分析  
 榮村翔矢. 2021. アザミウマタマゴバチ (*Megaphragma* sp.) の基礎生態学的研究  
 大島寛史. 2021. 分子生物学的手法によるトルコギキョウの花色解析に関する基礎的研究  
 相良一樹. 2021. デルフィニウム萼片の助色素に関する基礎的研究  
 桑原佳大. 2021. 鹿児島県大隅半島南部特産の香酸カンキツ「辺塚ダイダイ」の果実特性と遺伝的背景の解明  
 山田陽菜. 2021. カカオの光合成と開花結実に関する生理・形態的特性

(9) 卒業論文

- 安樂玲里. 2021. 植物共存細菌の菌叢解析におけるPCRブロッキング法の適用可能な栽培植物の拡大  
 上芝原日菜. 2021. ジャガイモそうか病の軽減効果を持つ有機資材の土壌施用が拮抗菌に及ぼす影響  
 深堀大介. 2021. 継代培養した刈草堆積物資材から分離した新規細菌 *Rhodobacter sastumaensis* sp. nov. の特性解

## 析と同定に関する研究

- 木本朝美. 2021. ツマジロクサヨトウ *Spodoptera frugiperda* に病原性を有する核多角体病ウイルスの探索・同定
- 久保 悠. 2021. チャ圃場で得られたクモ類の胃内容物分析
- 角田謙信. 2021. 有機移行3年目チャ圃の害虫・天敵相
- 花田雄大. 2021. 市販の黒ナス、白ナスと伝統ナスの品種による病害虫被害の違い
- 山田竜大. 2021. 露地ナス圃場におけるミツユビナミハダニ防除のための天敵涵養植物の効果
- 岩橋佳奈【国際コース】. 2021. 赤色系統トルコギキョウの花弁色素に関する研究（第1報）
- 林川和司. 2021. 赤色系統トルコギキョウの花弁色素に関する研究（第2報）
- 遠矢篤史. 2021. 赤紫色系統トルコギキョウの花弁色素に関する研究
- 松下佳広. 2021. トルコギキョウの赤色系斑入り系統の作出
- 石川圭大【国際コース】. 2021. トルコギキョウのかすり花形質に関する研究
- 徳永 守. 2021. トルコギキョウ花色に関与するF3H遺伝子の解析
- 宝泉孝輔. 2021. トルコギキョウのF3'5'H遺伝子に関する分子生物学的研究
- 平岡直也. 2021. トルコギキョウのF3'5'H遺伝子を導入したアサガオの解析
- 上野海晴. 2021. アセロラにおける組織培養系確立のための好適条件の解明と土壤線虫被害の軽減技術の開発
- 窪田瑛水. 2021. 辺塚ダイダイの特性解明およびカンキツにおける無核性果実生産の条件解明
- 園田健人. 2021. 新型コロナウイルス流行の青果物市場への影響
- 濱田康平. 2021. 鹿児島県での栽培におけるアーモンドの生育特性および果実品質
- 姫野悠一. 2021. 結実期以降の遮光がパッションフルーツの栄養成長と果実品質に及ぼす影響
- 山田葵衣. 2021. 熱帯果樹における栄養繁殖技術の開発
- 上野祐輔. 2021. 鹿児島県の伝統作物（大根、サツマイモ）の特徴に関する研究
- 高瀬高歩. 2021. 鹿児島県島嶼域におけるサトウキビの塩害防止および回避技術の確立
- 千村 涼. 2021. 空気中のCO<sub>2</sub>削減を目指したケナフ栽培によるCO<sub>2</sub>固定技術の開発
- 川崎諒也. 2021. 鹿児島県におけるエリアンサス栽培に関する土壤肥料学的研究

## 3 研究助成

- ヤムイモの窒素固定エンドファイトの解明と農業革新（2018-2021）. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B特設）.（分担：遠城道雄，朴炳宰）
- 窒素固定増強遺伝子によるマメ科作物の低炭素投入型への転換（2020-2021）. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）.（分担：遠城道雄）
- 乳牛個体間の社会的順位による発情発見アルゴリズムの開発（2020-2021）. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）.（分担：大島一郎）
- 九州・沖縄の孤児作物（Orphan Crop）であるボタンボウフウのもつ機能性成分と遺伝的多様性（2021）. 先進的研究推進事業.（分担：朴炳宰）
- 人工光閉鎖型育苗装置「エコナーセリー®」を活用したオフシーズンにおける温帯性作物の栽培技術の開発（2021-2023）. 株式会社エルム. 共同研究.（代表：遠城道雄）
- 鹿児島県内のモリंगा栽培における立枯病の原因究明と対策の検討（2021-2023）. 高槻電気工業株式会社. 共同研究.（代表：遠城道雄）
- 代謝刷り込みによる牛放牧肥育技術開発事業（2021-2022）. 公益財団法人全国競馬・畜産振興会. 日本中央競馬会畜産振興事業交付金.（分担：大島一郎）
- 農学部教育研究助成のため（2020-）. アグリPlus. 奨学寄附金.（遠城道雄）
- 農学部教育研究助成のため（2020-）. 仙波糖化工業株式会社. 奨学寄附金.（遠城道雄）

## 4 学会等活動

日本熱帯農業学会，日本作物学会，園芸学会，日本農作業学会，日本育種学会，日本草地学会，農業生産技術管理学会，日本畜産学会，日本暖地畜産学会，日本家禽学会

## 5 遺伝資源の保存

農場は，わが国における温暖地，亜熱帯，熱帯植物及びトカラ馬，口之島野生化牛などの希少動物の遺伝資源保存センターとしての機能を有する。各付帯施設で保有する遺伝資源は下記のとおりである。

## 1) 学内農事部

学内農事部では、鹿兒島県内に現存する在来種を約60品種保存している。

第25表 学内農事部で保存している野菜遺伝資源リスト

科名	品目名	学名	品種・系統名
ナス	ナス	<i>Solanum melongena</i> L.	伊敷長ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	縞ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白中ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白長ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白丸ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	青丸ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	小窪ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	紫丸ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	真白ナス
ウリ	トウガラシ	<i>Capsicum annuum</i> L.	花岡コショウ
	キュウリ	<i>Cucumis sativus</i> L.	奄美ウリ
マメ	カボチャ	<i>Cucurbita moschata</i> Duchesne ex Poir.	長トツツブル
	マクワウリ	<i>Cucumis melo</i> var. <i>makuwa</i>	甫立メロン
		<i>Cucumis melo</i> var. <i>makuwa</i>	マクワウリ
		<i>Cucumis melo</i> var. <i>makuwa</i>	黒ウリ
ヒルガオ	ダイズ	<i>Glycine max</i> (L.) Merr.	島ダイズ
	ササゲ	<i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp.	短莢
		<i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp.	中莢
		<i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp.	長莢
	エンドウ	<i>Pisum sativum</i> L.	雷エンドウ (上甑)
		<i>Pisum sativum</i> L.	雷エンドウ (鹿島)
ゴマ	ソラマメ	<i>Vicia faba</i> L.	大島在来ソラマメ (奄美大島)
		<i>Vicia faba</i> L.	大島在来ソラマメ (喜界島)
	サツマイモ	<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	シモン
		<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	種子島ゴールド
ヒガンバナ	ニンニク	<i>Allium sativum</i> L.	種子島ロマン
		<i>Allium sativum</i> L.	安納コガネ
ショウガ	ショウガ	<i>Zingiber officinale</i> Rosc.	安納紅
	アブラナ	<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	島
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	有良
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	佐仁
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	戸口
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	古志
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	小野津
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	松原田
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	山川
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	上別府
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	赤
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	田上
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	横川
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	国分
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	城内
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	永山
		カブ	<i>Brassica rapa</i> var. <i>rapa</i>

	タカナ	<i>Brassica juncea</i> var. <i>integrifolia</i>	コブタカナ
		<i>Brassica juncea</i> var. <i>integrifolia</i>	シマナ
セリ	ニンジン	<i>Daucus carota</i> subsp. <i>sativus</i>	吉野ニンジン (赤・黄)
		<i>Daucus carota</i> subsp. <i>sativus</i>	佐仁ニンジン (赤・黄)
アカザ	フダンソウ	<i>Beta vulgaris</i> var. <i>cicla</i>	フダンソウ

## 2) 唐湊果樹園

唐湊果樹園では、第26表に示すように、落葉果樹11種類50品種・系統、常緑果樹2種類134品種・系統、熱帯・亜熱帯果樹4種類21品種・系統を保存している。

第26表 唐湊果樹園で保存している果樹遺伝資源リスト

樹種名	学名または組み合わせ	品種・系統名
落葉果樹		
モモ	<i>Prunus persica</i> Sieb.	ちよひめ
	<i>Prunus persica</i> Sieb.	ひめこなつ
	<i>Prunus persica</i> Sieb.	はなよめ
スモモ	<i>Prunus</i> sp.	メスレー
	<i>Prunus</i> sp.	大石早生
	<i>Prunus</i> sp.	カラリ
アンズ	<i>Prunus armeniaca</i>	おひさまコット
	<i>Prunus armeniaca</i>	ニコニコット
ウメ	<i>Prunus mume</i> Sieb.	南高
	<i>Prunus mume</i> Sieb.	鶯宿
	<i>Prunus mume</i> Sieb.	竜峡小梅
ブドウ	<i>Vitis</i> sp.	キャンベル アーリー
	<i>Vitis</i> sp.	翠峰
	<i>Vitis</i> sp.	シャイン マスカット
	<i>Vitis</i> sp.	サンヴェルデ
カキ	<i>Diospyrus kaki</i> L.	平核無
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	富有
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	次郎
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	禅寺丸
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	太秋
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	新秋
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	西村早生
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	ロウヤ柿
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	常葉柿
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	刀根早生
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	大核無
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	丹麗
ブルーベリー	<i>Vaccinium</i> sp.	ホームベル
	<i>Vaccinium</i> sp.	ウッダード
	<i>Vaccinium</i> sp.	ティフブルー
	<i>Vaccinium</i> sp.	クライマックス
	<i>Vaccinium</i> sp.	パールリバー
	<i>Vaccinium</i> sp.	オースチン
	<i>Vaccinium</i> sp.	ブライトウエル
	<i>Vaccinium</i> sp.	マグノリア
	<i>Vaccinium</i> sp.	ジャージー
	<i>Vaccinium</i> sp.	ブラッデン



	<i>Vaccinium</i> sp.	ジョージアジム
	<i>Vaccinium</i> sp.	オニール
	<i>Vaccinium</i> sp.	シャープブルー
	<i>Vaccinium</i> sp.	T100
クリ		
	<i>Castanea</i> Miller	筑波
	<i>Castanea</i> Miller	三原系
	<i>Castanea</i> Miller	丹沢
	<i>Castanea</i> Miller	ぼろたん
イチヨウ (ギンナン)		
	<i>Ginkgo biloba</i> L.	藤九郎
	<i>Ginkgo biloba</i> L.	嶺南
	<i>Ginkgo biloba</i> L.	久寿
ザクロ		
	<i>Punica granatum</i> L.	在来系
クワ		
	<i>Morus</i> sp.	しだれぐわ
<hr/>		
常緑果樹		
ビワ		
	<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	茂木
	<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	長崎早生
	<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	なつたより
カンキツ		
	<i>Citrus macroptera</i> Mont.	カブヤオ
	<i>C. hystrix</i> DC.	プルット
	<i>C. latipes</i> (Swing.) Tan.	カシーパベダ
	<i>C. aurantifolia</i> (Christm.) Swing.	メキシカンライム
	<i>C. limettioides</i> Tan.	スイートライム
	<i>C. bergamia</i> Risso et Poit.	ベルガモット
	<i>C. latifolia</i>	タヒチライム
	<i>C. Montana</i> Tan.	ビロロ
	<i>C. excelsa</i> Wester	レモンリアル
	<i>C. medica</i> L.	ブッシュカン
	<i>C. medica</i> L.	マルブッシュカン
	<i>C. limon</i> (L.) Burm. f.	アレンユーレカ
	<i>C. limon</i>	ビアフランカ
	<i>C. limon</i>	イエローベル
	<i>C. limon</i>	璃の香
	<i>C. limetta</i> Risso	スイートレモン
	<i>C. balotina</i> Poit. et Turp.	バロチンベルガモット
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	安政柑
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩王柑
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	チャンドラー
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	はやさき
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	紅まどか
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	水晶文旦
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩白柚
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	麻豆紅柚
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	土佐文旦
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	大橘
	<i>C. pseudogulgu</i> Hort. ex Shirai	ジャガタラク
	<i>C. paradise</i> Macf.	マーシュ シードレス
	<i>C. paradise</i> Macf.	オロブランコ
	<i>C. paradise</i> Macf.	ルビー
	<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	農間紅ハッサク
	<i>C. medioglobosa</i> Hort. ex Tan.	ナルト
	<i>C. natsudaidai</i> Hayata	川野なつだいだい
	<i>C. natsudaidai</i> Hayata	紅甘夏

IV 研究活動

<i>C. ampullaceal</i> Hort. ex Tan.	ヒョウカン
<i>C. yamabuki</i> Hort. ex Y. Tanaka	ヤマブキ
<i>C. kawachiensis</i> Hort. ex Y. Tanaka	カワチバンカン
<i>C. aurantium</i> L.	カブス
<i>C. aurantium</i> L.	回青橙
<i>C. aurantium</i> L.	斑入りダイダイ
<i>C. myrtifolia</i> Rafin.	キノット
<i>C. rokugatsu</i> Hort. ex Y. Tanaka	ロクガツミカン
<i>C. canaliculata</i> Hort. ex Y. Tanaka	キクダイダイ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ハムリン
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	トロビタ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	オリンダ バレンシア
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	タロッコ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	モロ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ピラリマ
<i>C. tankan</i> Hayata	垂水1号
<i>C. tankan</i>	名護紅早生
<i>C. iyo</i> Hort. ex Tanaka	宮内伊予柑
清家ネーブル × クレメンティン	ありあけ
宮川早生 × トロビタオレンジ	清見
交雑親不詳のタンゴール	マーコット
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	ヒュウガナツ
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	オレンジ日向
<i>C. aurea</i> Hort. ex Tan	カワバタミカン
<i>C. ichangensis</i> Swing.	イーチャンジェンシス
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	山根
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	ユズ
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	木頭ユズ
<i>C. hanaju</i> Hort. ex Shirai	ハナユ
<i>C. sudachi</i> Hort. ex Shirai	スダチ
<i>C. sudachi</i>	元寇
<i>C. spaerocarpa</i> Hort. ex Tan.	カボス
学名不明	平兵衛酢
<i>C. nobilis</i> Lour.	クネンボ
<i>C. nobilis</i> Lour.	トークニン
<i>C. unshiu</i> Marc.	原木(4代目)
<i>C. unshiu</i> Marc.	青島温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	寿太郎温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	白川温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	十万温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	石地温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	大津4号
<i>C. unshiu</i> Marc.	興津早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	宮川早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	かごしま早生
<i>C. keraji</i> Hort. ex Tan.	ケラジ
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	喜界ミカン
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	ナツクニン
<i>C. oto</i> Hort. ex Y. Tanaka	オートー
<i>C. reticulata</i> Blanco	吉田ボンカン
<i>C. reticulata</i> Blanco	薩州
<i>C. deliciosa</i> Ten.	地中海マンダリン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ゲンショウカン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ウスカワ
<i>C. tangerina</i> Hort. ex Tan	大紅ミカン
<i>C. clementina</i> Hort. ex Tan.	クレメンティン
<i>C. tachibana</i> (Mak.) Tan.	タチバナ
<i>C. kinokuni</i> Hort. ex Tan.	キノクニ

	<i>C. sunki</i> Hort. ex Tan.	スンキ
	<i>C. reshni</i> Hort. ex Tan.	クレオパトラ
	<i>C. depressa</i> Hayata	シイクワシャー
	<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン (甘)
	<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン (辛)
	<i>C. leiocarpa</i> Hort. ex Tan.	コウジ
	<i>C. flaviculpus</i> Hort. ex Tanaka	キミカン
	<i>C. sp.</i>	コズ
	<i>C. sp.</i>	島みかん (黒島)
	キング×地中海マンダリン	アンコール
	クレメンティン×ダンシータンゼリン	フォーチュン
	小西早生×フェアチャイルド	サガマンダリン
	キング×ウンシュウミカン	カーラ
	三保早生×クレメンティン	南香
	今村温州×中野3号ボンカン	早香
	クレメンティン×オーランド	ノバ
	ミネオラ×クレメンティン	ページ
	清見×中野3号ボンカン	陽香
	清見×中野3号ボンカン	不知火
	清見×ボンカンF-2432	はるみ
	清見×アンコール	あまか
	(清見×興津早生) ×ページ	天草
	(清見×アンコール) ×マーコット	せとか
	清見×興津早生	津之香
	上田温州×ハッサク	スイートスプリング
	ダンカングレープフルーツ×ダンシータンゼリン	ミネオラ
	津之望×育成系統No.1408	みはや
	<i>C. madurensis</i> Lour.	シキキツ
	<i>C. sp.</i>	辺塚ダイダイ
	<i>C. sp.</i>	小林みかん
キンカン		
	<i>Fortunella hindsii</i> (Champ.) Swing.	キンズ
	<i>F. margarita</i> (Lour.) Swing.	ナガキンカン
	<i>F. japonica</i> (Thumb.) Swing.	マルキンカン
	<i>F. crassifolia</i> Swing.	ニンボウキンカン
	<i>F. obovata</i> Tan.	チョウジュキンカン
	<i>F. margarita</i> X <i>F. crassifolia</i>	ぷちまる
カラタチ		
	<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ルビドー
	<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ヒリュウ
熱帯・亜熱帯果樹		
パッションフルーツ		
	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> P. <i>Plavicarpa</i>	サマークイーン
	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> P. <i>Plavicarpa</i>	ルビースター
	<i>Passiflora edulis</i>	アマミノジャンボウ
アセロラ		
	<i>Malpighia emergunata</i> DC.	フローロブランカ
	<i>Malpighia emergunata</i> DC.	フロリダスイート
アボカド		
	<i>Persea americana</i> Mill	フェルテ
	<i>Persea americana</i> Mill	エッディンガー
	<i>Persea americana</i> Mill	ハス
	<i>Persea americana</i> Mill	グエン
	<i>Persea americana</i> Mill	リード
	<i>Persea americana</i> Mill	ベーコン
	<i>Persea americana</i> Mill	Lamb Has
	<i>Persea americana</i> Mill	ピンカートン
	<i>Persea americana</i> Mill	ズダーノ

リュウガン

<i>Euphoria longan</i> Stend	N93-6
<i>Euphoria longan</i> Stend	カーラ
<i>Euphoria longan</i> Stend	ハエウ
<i>Euphoria longan</i> Stend	シーチョンプー
<i>Euphoria longan</i> Stend	エワイ
<i>Euphoria longan</i> Stend	ビオキウ
<i>Euphoria longan</i> Stend	サキップ
<i>Euphoria longan</i> Stend	タイウエン
<i>Euphoria longan</i> Stend	フンカク

## 3) 指宿植物試験場

当場では1918年の設置以来、現在に至るまで、熱帯・亜熱帯植物の収集・保存を行い、教育研究に利用するとともに、地域への普及を行っている。これまで、マンゴー、パッションフルーツなどの熱帯果樹類や熱帯産ヤムイモなどが、南九州で特産化されている。

遺伝資源植物として保存している植物数は、品種や系統も含めると約600種類である。これらは、鉢や露地植えて保存されており、面積ベースでは、温室の60%、ビニルハウスの50%、圃場の25%である。単純計算であるが、教職員はこれら遺伝資源植物の維持、管理に全体の作業の45%程度の時間を割いていることになる。一方で、遺伝資源植物からの収入は、全体の15%程度である。

遺伝資源植物の保存、評価、利用なども附属農場の重要役割のひとつであるが、教職員数と比較した場合の労力や予算的な面からもほぼ限界の状況である。とくに果樹類などは実生系など品種が明確でないものも多く、それらは、結実が見られないものも多い。地域農業への貢献のためにも、明確な品種と生産性の可能性がある熱帯・亜熱帯果樹類への切り替えを進めている。

第27表 指宿植物試験場で保存している主な植物遺伝資源リスト

科名	和名	学名	品 種
アオイ科	ピンポンノキ	<i>Sterculia nobilis</i> Sm.	マダムフランシス
	カカオ	<i>Theobroma cacao</i> Linn.	
アカテツ科	サボジラ	<i>Achras zapota</i> L.	
	クダモノタマゴ	<i>Lucuma nervosa</i> A.D.C.	
	ミラクルベリー	<i>Synsepalum dulcificum</i> Daniell	
	アビウ	<i>Pouteria caimito</i> Radlk.	白綿綿
	カニステル	<i>Pouteria campechiana</i> (H.B.K) Baehni	
	スイショウガキ	<i>Chrysophyllum cainito</i> Linn.	
アカネ科	イクソラ・ダフイー	<i>Ixora duffii</i> T.Moore	
	コーヒーノキ	<i>Coffea</i> spp.	
イネ科	レモングラス	<i>Cymbopogon citratus</i> (DC.) Stapf	
	スズコナリヒラ	<i>Sinobambusa tootsik</i> Makino f. <i>albostrata</i> Muroi	
	ベチバー	<i>Vetiveria zizanioides</i> (L.) Roberty	
イイギリ科	ラブリーアップル	<i>Dovyalis abyssinica</i> Warb.	
イラクサ科	ペリオニア	<i>Pellionia</i> spp.	
	アサバソウ	<i>Pilea cadierei</i> Gagnep. et Guillaum.	
ウコギ科	ホンコンカボック	<i>Schefflera arboricola</i> (Hayata) Hayata ex Kaneh.	
ウラボシ科	コウモリラン	<i>Platyserium bifurcatum</i> (Cav.) C. Chr.	
ウルシ科	マンゴー	<i>Mangifera indica</i> L.	アーウィン
		<i>Mangifera indica</i> L.	リベンス
		<i>Mangifera indica</i> L.	タハール

<i>Mangifera indica</i> L.	マダムフランシス
<i>Mangifera indica</i> L.	ケント
<i>Mangifera indica</i> L.	トルベット
<i>Mangifera indica</i> L.	エドワード
<i>Mangifera indica</i> L.	ケンジントンプライド
<i>Mangifera indica</i> L.	ラッド
<i>Mangifera indica</i> L.	バンダイク
<i>Mangifera indica</i> L.	メラウイン
<i>Mangifera indica</i> L.	ドット
<i>Mangifera indica</i> L.	コム
<i>Mangifera indica</i> L.	トミーアトキンス
<i>Mangifera indica</i> L.	グレン
<i>Mangifera indica</i> L.	バレンシアプライド
<i>Mangifera indica</i> L.	マグジャミン
<i>Mangifera indica</i> L.	スピリット オブ 76
<i>Mangifera indica</i> L.	フロリゴン
<i>Mangifera indica</i> L.	フロリジェン
<i>Mangifera indica</i> L.	ラボザ
<i>Mangifera indica</i> L.	リリー
<i>Mangifera indica</i> L.	ランセティーラ
<i>Mangifera indica</i> L.	ゴウベイヤ
<i>Mangifera indica</i> L.	STマウイ
<i>Mangifera indica</i> L.	ニールキラン
<i>Mangifera indica</i> L.	ハッチャー
<i>Mangifera indica</i> L.	ジレイト
<i>Mangifera indica</i> L.	R2E2
<i>Mangifera indica</i> L.	ホワイトピリー
<i>Mangifera indica</i> L.	ナムドクマイ
<i>Mangifera indica</i> L.	ルビー
<i>Mangifera indica</i> L.	レイト
<i>Mangifera indica</i> L.	ベリーーズマルベル
<i>Mangifera indica</i> L.	スプリングフェルス
<i>Mangifera indica</i> L.	ゴールデンリベンス
<i>Mangifera indica</i> L.	ジル
<i>Mangifera indica</i> L.	キーツ
<i>Mangifera indica</i> L.	チョコナン
<i>Mangifera indica</i> L.	KEOJAE
<i>Mangifera indica</i> L.	キョサワイ
<i>Mangifera indica</i> L.	マハチャノク
<i>Mangifera indica</i> L.	アルフォンソ
<i>Mangifera indica</i> L.	ニーラム
<i>Mangifera indica</i> L.	ケサー
<i>Mangifera indica</i> L.	蜜煌
<i>Mangifera indica</i> L.	蘋果文
<i>Mangifera indica</i> L.	貴妃
<i>Mangifera indica</i> L.	慢愛文
<i>Mangifera indica</i> L.	杉林
<i>Mangifera indica</i> L.	台農二號
<i>Mangifera indica</i> L.	紅金煌
<i>Mangifera indica</i> L.	黒香
<i>Mangifera indica</i> L.	玉文
<i>Mangifera indica</i> L.	紅象牙
<i>Mangifera indica</i> L.	粟中
<i>Mangifera indica</i> L.	紅龍
<i>Mangifera indica</i> L.	玉文6号
<i>Mangifera indica</i> L.	金一
<i>Mangifera indica</i> L.	農民黨1號

IV 研究活動

	<i>Mangifera indica</i> L.	紅凱特
	<i>Mangifera indica</i> L.	海頓
	<i>Mangifera indica</i> L.	世界一
	<i>Mangifera indica</i> L.	ハナミツ
	<i>Mangifera indica</i> L.	メキシコカラバオ
	<i>Mangifera indica</i> L.	キンコウ
	<i>Mangifera indica</i> L.	キンミツ
オシロイバナ科		
ブーゲンビレア	<i>Bougainvillea</i> spp.	
オトギリソウ科		
マンゴスチン	<i>Garcinia mangostana</i> L.	
ガガイモ科		
スタペリア	<i>Stapelia</i> spp.	
カキノキ科		
ブラックサボテ	<i>Diospyros nigra</i> Blanco	
カタバミ科		
スターフルーツ	<i>Averrhoa carambola</i> L.	シルク
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	指宿スター
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	カリイ
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	カイラ
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	ハノイ
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	大王
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	ビーナス
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	ベル
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	Thai
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	Bintan
	<i>Averrhoa carambola</i> L.	Momoreia
ナガバノゴレンシ	<i>Averrhoa bilimbi</i> Linn.	
カヤツリグサ科		
カミガヤツリ	<i>Cyperus papyrus</i> L.	
キク科		
スイゼンジナ	<i>Gynura bicolor</i> DC.	
キツネノマゴ科		
ルリハナガサ	<i>Eranthemum pulchellum</i> Andr.	
アトロプルプレウム	<i>Pseuderanthemum atropurpureum</i> (Bull) L. H. Bailey	
コダチヤハズカズラ	<i>Tunbergia erecta</i> (Benth.) T. Anderson	
ベンガルヤハズカズラ	<i>Tunbergia grandiflora</i> (Rosb. ex Rottl.) Rpxb.	
キョウチクトウ科		
アデニウム	<i>Adenium</i> spp.	
オオバナアリアケカズラ	<i>Allamanda cathartica</i> L.	
ヒメアリアケカズラ	<i>Allamanda nerifolia</i> Hook.	
セイヨウキョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> L.	
キバナキョウチクトウ	<i>Thevetia peruviana</i> (Pers.) K. Schum.	
インドソケイ	<i>Jasminum grandiflorum</i> Linn.	
プルメリア	<i>Plumeria</i>	
キントラノオ科		
アセロラ	<i>Malpigia glabra</i> L.	Hawaiian Sweet
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Hawaiian Queen
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Florida Sweet
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Maunawilli
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Rehnborg
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Red Jumbo
	<i>Malpigia glabra</i> L.	Tropical Ruby
	<i>Malpigia glabra</i> L.	F. Haley
	<i>Malpigia</i> sp.	つる性
ヒイラギトラノオ	<i>Malpigia coccigera</i> L.	
アメイシア	<i>Bunchosia armeniaca</i> (Cav.) DC	



IV 研究活動

サボテン科	ドラゴンフルーツ	<i>Hylocereus undatus</i> (Haworth) D.R.Hunt	
シソ科	クミスクチン	<i>Orthosiphon aristatus</i> (Blume) Miq.	
シノブ科	タマシダ	<i>Nephrolepis cordifolia</i> (L.) K. Presl	
ショウガ科	ゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.) B.L.Burtt et R.M.Sm.	
	キフゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.) B.L.Burtt et R.M.Sm. 'Variegata'	
	フクジンソウ	<i>Costus speciosus</i> (J.Konig) Sm.	
	キョウオウ	<i>Curcuma aromatica</i> Salisb.	
	ウコン	<i>Curcuma longa</i> L.	
	ガジュツ	<i>Curcuma zedoaria</i> (Christm) Roscoe	
スイカズラ科	ゴモジュ	<i>Viburnum suspensum</i> Lindl.	
センダン科	ランサット	<i>Lansium domesticum</i> Jack.	
タコノキ科	アダン	<i>Pandanus tectorius</i> Soland.ex Balf.f.	
タデ科	ハマベブドウ	<i>Coccoloba uvifera</i> (L.) L.	
ソテツ科	ナンヨウソテツ	<i>Cycas circinalis</i> L.	
	ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.	
ツツジ科	ケラマツヅジ	<i>Rhododendron scabrum</i> G. Don	
ツユクサ科	ムラサキオモト	<i>Rhoeo spathacea</i> (Swartz) Stearn	
トウダイグサ科	クロトン	<i>Codiaeum variegatum</i> (L.) Blume	
	ハナキリン	<i>Euphorbia mili</i> Desmoul. var. <i>splendens</i> (Bojer ex Hook.) Ursch et Leandri	
	アオサンゴ	<i>Euphorbia tirucalli</i> L.	
	ナンヨウザクラ	<i>Jatropha integerrima</i> Jacq.	
	サンゴアブラギリ	<i>Jatropha podagrica</i> Hook.	
	セッカギンリュウ	<i>Pedilanthus tithymalodes</i> (L.) Poit.	
	ククイナツツ	<i>Aleurites moluccana</i> Wild.	
	タンポイ	<i>Baccaurea macrocarpa</i> (Miq.) Müll. Arg.	
トケイソウ科	ムラサキクダモノトケイソウ	<i>Passiflora edulis</i> Sims.	
	パッションフルーツ	<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	サマークイーン
		<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	ルビースター
		<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	アマミノジャンボウ
		<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	博芳
		<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	キングルビー
		<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	南十字星
		<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	八重山黄色
		<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	台湾黄色
		<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	石垣キング
		<i>P.edulis</i> × <i>P.edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	Ma dois
	マリフォルミス	<i>Passiflora maliformis</i> L.	
	ミズレモン	<i>Passiflora laurifolia</i> L.	2 n
		<i>Passiflora laurifolia</i> L.	4 n
ナス科	ニオイバンマツリ	<i>Brunfelsia australis</i> Benth.	
ナンヨウスギ科	シマナンヨウスギ	<i>Araucaria heterophylla</i> (Salisb.) Franco	



ノウゼンカズラ科	ハリミノウゼン	<i>Clytostoma callistegioides</i> (Cham.) Bur.	
	ジャカラング	<i>Jacaranda</i> sp.	
	イベ	<i>Tabebuia</i> sp.	
	ソーセージノキ	<i>Kigelia Africana</i> (Lam.) Benth	
パイナップル科	パイナップル	<i>Ananas comosus</i> (Linn.) Merr.	
	チランジア	<i>Tillandsia</i> spp.	
	サルオガセモドキ	<i>Tillandsia usneoides</i> (L.) L.	
バショウ科	バナナ	<i>Musa</i> spp.	
	ニコライ	<i>Strelitzia niccolai</i> Regel et Korn.	
	ゴクラクチョウカ	<i>Strelitzia reginae</i> Ait.	
	ユンケア	<i>Strelitzia reginae</i> var. <i>juncea</i> (Ker-Gawl.) H. E. Moore	
パパイヤ科	パパイヤ	<i>Carica papaya</i> Linn.	
バラ科	ヒメシャリンバイ	<i>Raphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino var. <i>integerrima</i> (Hook. et Rehd)	
パンヤ科	パキラ	<i>Pachira aquatica</i> Aubl.	
	トックリキワタ	<i>Chorisia speciose</i> (A.St.-Hil., A. Juss. et Cambess.) Ravenna	
	ドリアン	<i>Durio zibethinus</i> Murr.	
	バオバブノキ	<i>Adansonia digitata</i> Linn.	
バンレイシ科	チェリモヤ	<i>Annona cherimola</i> Mill.	
	アテモヤ	<i>Annona atemoya</i> Hort.	
	イランイラン	<i>Cananga odorata</i> (Lam.) Hook.f. & Thomson	
ヒガンバナ科	クンシラン	<i>Clivia miniata</i> Regel	
	ハマオモト	<i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Bak.	
ヒユ科	アルテルナンテラ	<i>Alternanthera ficoidea</i> (L.) R.Br.ex Roem. Et Schult.	
フトモモ科	キンボウジュ	<i>Callistemon speciosus</i> (Sims) DC.	
	ユーカリノキ	<i>Eucalyptus</i> spp.	
	ピタンガ	<i>Eugenia michelii</i> Lam.	バーミリオン
		<i>Eugenia michelii</i> Lam.	ラバー
	フェイジョア	<i>Feijoa sellowiana</i> O. Berg.	
	メラレウカ	<i>Melaleuca</i> spp.	
	ギンバイカ	<i>Myrtus communis</i> L.	
	テリハバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab.	
	キミノバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab. var. <i>lucidum</i> hort.	
	グァバ	<i>Psidium guajava</i> L.	
	レンブ	<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	黒金剛
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	黒珍珠
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	香水
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	ジャワ
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	チトラ
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	天霸王
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	飛弾
	ミズレンブ	<i>Syzygium aqueum</i> Alston	
	フトモモ	<i>Syzygium jambos</i> (L.) Alston	
	ジャボチカバ	<i>Myracia couliflora</i> O.Berg	
	グルミチャマ	<i>Syzygium dombeyi</i> Skeels	
ベンケイソウ科	カゲツ	<i>Crassula portulacea</i> Lam.	
	カランコエ	<i>Kalanchoe blossfeldiana</i> Poelln.	

IV 研究活動

ホルトノキ科

ナンヨウザクラ *Muntingia calabura* Linn.

マメ科

ソウシジュ *Acacia confusa* Merrill  
 ネムノキ *Albizia julibrissin* Durazz.  
 バウヒニア *Bauhinia* spp.  
 カリアンドラ *Calliandra* spp.  
 コバノセンナ *Cassia coluteoides* Collad.  
 ナンバンサイカチ *Cassia fistula* L.  
 サンゴシトウ *Erythrina × bidwillii* Lindl.  
 アメリカデイコ *Erythrina crista-galli* L.  
 マルバデイコ *Erythrina crista-galli* L. 'Maruba-Deiko'  
 ヒスイカズラ *Strongylodon macrobotrys* A. Gray  
 タマリンド *Tamarindus indica* Linn.  
 モンキーフラワーツリー *Phyllocarpus septentrionalis* Donn. Sm.

ミカン科

シロサボテ *Casimiroa edulis* La Llave and Lex. EdgeHill  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Rinchard  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Fournoy  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. white  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Yellow  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Vista  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Columbia  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Malibu  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. MaxGolden  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Fallbrook  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Kagi  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Ortege  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Selck  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Candy  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. Rixford  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. マーブル  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. ミシエル  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. ライニキコマーシャル  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. バーノン  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. スマザーズ  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. スーベル  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. パイク  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. スナイダー  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. クシオ  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. チェストナット  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. チャールズアーリー  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. ゴールデングローブ  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. グエン  
*Casimiroa edulis* La Llave and Lex. モルツビー  
 フィンガーライム *Citrus australasica* F. Muell. Mia Rose  
*Citrus australasica* F. Muell. Red Sparkling  
 ワンピ *Clausena lansium* (Laur.) Skeels

ミソハギ科

メキシコハナヤナギ *Cuphea hyssopifolia* H. B. K.  
 ハナヤナギ *Cuphea micropetala* H. B. K.

ムクロジ科

リュウガン *Euphoria longan* Lam. 潤蒂  
*Euphoria longan* Lam. 福眼  
*Euphoria longan* Lam. 粉珍  
*Euphoria longan* Lam. 粉殻  
*Euphoria longan* Lam. 菱角

	<i>Euphoria longan</i> Lam.	タイウエン
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	サキップ
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	itoh
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	puanglay
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	ponyai
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	Daiamond river
ライチ	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	玉荷包
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	黒葉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	桂味
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	糯米滋
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	大丁香
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	翠玉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	玫瑰紅
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	皇帝
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	小葉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	中葉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	篤姫
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	佐多在来
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	船乗り
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	San poaw coew
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	チャカパッド
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	クエイメイピンク
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	サラシエル
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	クエイメイ
	<i>Nephelium lappaceum</i> Linn.	
ランブータン		
モクセイ科		
	<i>Fraxinus griffithii</i> C.B. Clarke	
	<i>Jasminum polyanthum</i> Franch.	
モクマオウ科		
	<i>Casuarina stricta</i> Ait.	
ヤシ科		
	<i>Aiphanes acanthophylla</i> (Mart.) Burret	
	<i>Archontophoenix alexandrae</i> (F.J. Muell.) H. Wendl. et Drude	
	<i>Areca catechu</i> L.	
	<i>Arecastrum romanzoffianum</i> (Cham.) Becc.	
	<i>Arenga pinnata</i> (Wurmb) Merrill	
	<i>Arenga tremula</i> (Blanco) Becc. var. <i>engleri</i> (Becc.) Hatus.	
	<i>Butia bonnetii</i> (Becc.) Becc.	
	<i>Butia capitata</i> (Mart.) Becc.	
	<i>Caryota mitis</i> Lour.	
	<i>Chamaerops humilis</i> L.	
	<i>Chrysalidocarpus lutescens</i> H. Wendle.	
	<i>Coccothrinax dussiana</i> L. H. Bailey	
	<i>Cocos nucifera</i> L.	
	<i>Collinia elegans</i> (Mart.) Liebm. ex Oerst.	
	<i>Copernicia alba</i> Morong	
	<i>Cyrtostachys lakka</i> Becc.	
	<i>Drymophloeus beguinii</i> (Burret) H. E. Moore	
	<i>Howea belmoreana</i> (C.Moore et F.J. Muell.) Becc.	
	<i>Howea forsteriana</i> (C.Moore et F.J. Muell.) Becc.	
	<i>Licuala grandis</i> H. Wendl.	
	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R.Br.ex Mart.	
	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart. var. <i>subglobosa</i> (Hassk.)	
	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart var. <i>boninensis</i> Becc.	
	<i>Mascarena lagenicaulis</i> L. H. Bailey	
	<i>Mascarena verschaffeltii</i> (H. Wendl.) L. H. Bailey	
	<i>Microcoelum weddellianum</i> (H. Wendl.) H. E. Moore	

IV 研究活動

ミツヤヤシ	<i>Neodypsis decaryi</i> Jumelle	
キリンヤシ	<i>Phoenicophorium borsigianum</i> (K. Koch) Stuntz	
カナリーヤシ	<i>Phoenix canariensis hort. ex Chabaud</i>	
ナツメヤシ	<i>Phoenix dactylifera</i> L.	
カブダチソテツジュロ	<i>Phoenix reclinata</i> Jacq.	
シンノウヤシ	<i>Phoenix roebelenii</i> O'Brien	
サトウナツメヤシ	<i>Phoenix sylvestris</i> (L.) Roxb.	
ヒメヤハズヤシ	<i>Ptychosperma elegans</i> (R.Br.) Blume	
シュロチクヤシ	<i>Ptychosperma macarthurii</i> (H. Wendl.) Nichols.	
カンノンチク	<i>Rhapis excelsa</i> (Thunb.) A. Henry	
シュロチク	<i>Rhapis humilis</i> Blume	
フロリダグダイオウヤシ	<i>Roystonea elata</i> (Bartr.) F. Harper	
サバルヤシ	<i>Sabal</i> spp.	
ヤエヤマヤシ	<i>Satakentia liukuensis</i> (Hatsu.) H. E. Moore	
コバナクマデヤシ	<i>Thrinax parviflora</i> Swartz	
マニラヤシ	<i>Veitchia merrillii</i> (Becc.) H. E. Moore	
ウイニン	<i>Veitchia winin</i> H. E. Moore	
タケウマキリンヤシ	<i>Verschaffeltia splendida</i> H. Wendl.	
オキナヤシ	<i>Washingtonia filifera</i> (Linden ex Andre) H. Wendl.	
オキナヤシモドキ	<i>Washingtonia robusta</i> H. Wendl.	
ヤマノイモ科		
イエローギニアヤム	<i>Dioscorea cayenensis</i> Lam.	
トゲドコロ	<i>Dioscorea esculenta</i> (Lour) Burk.	
ダイジョ	<i>Disocorea alata</i> L.	
ヤマモガシ科		
マカダミア	<i>Macadamia integrifolia</i> Maiden et Betche	クーパー
ステノカーパス	<i>Stenocarpus sinuatus</i> (Loudon) Endl.	
ヤマゴボウ科		
オンブー	<i>Phytolacca dioica</i> L.	
ユキノシタ科		
サラサウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Sieb. et Zucc. f. plena (Maxim.) C.K. Schneid.	
ユリ科		
キダチアロエ	<i>Aloe arborescens</i> Mill.	
アロエ	<i>Aloe</i> spp.	
ハララン	<i>Aspidistra elatior</i> Blume	
オリズラン	<i>Chlorophytum comosum</i> (Thunb.) Jacques	
十二の巻	<i>Haworthia fasciata</i> (Willd.) Haw.	
ソキアリス	<i>Ledebouria socialis</i> (Bak.) Jessop	
ラン科		
ホウサイラン	<i>Cymbidium sinense</i> (Andr.) Willd.	
オンシジューム	<i>Oncidium</i> spp.	
バニラ	<i>Vanilla planifolia</i> G. Jacks.	
	<i>Vanilla albida</i> Blume	
トックリラン	<i>Beaucarnea recurvata</i> Lem.	
リュウゼツラン科		
リュウゼツラン	<i>Agave</i> spp.	
センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth	
センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth	
ベニフクリンセンネンボク	<i>Doracaena concinna</i> Kunth	
シロシマセンネンボク	<i>Doracaena deremensis</i> Engl.	
ギンヨウセンネンボク	<i>Doracaena sanderiana hort.</i> Sander ex M.T.Mast.	
レフレクサ	<i>Dracaena reflexa</i> Lam.	
ハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Hahnii'	
トラノオ	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Laurentii'	
ゴールドデンハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Golden Hahnii'	
シルバーハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain 'Silver Hahnii'	

#### 4) 入来牧場

- ・トカラ馬 (*Equus caballus*)

日本に現存する8種類の在来馬の一つで、1953年9月に鹿兒島県の文化財として天然記念物に指定されている。トカラ馬は完全な野生化状態で導入されており、頭数維持は自然交配自然分娩によって行われている。平成27年3月に加えて、平成28年11月に馬伝染性貧血検査のため全頭採血を実施し、全頭頸部皮下に個体識別チップを埋め込んでいる。鹿兒島大学附属農場入来牧場では、現在、推計17頭のトカラ馬を保有している。

- ・口之島野生化牛 (*Bos Taurus*)

日本に現存する2種類の在来牛の一つで、鹿兒島県十島村に生息している。口之島野生化牛は絶滅の危機に瀕しているため、鹿兒島大学において保護と増殖のための取り組みを行っている。平成30年に雌1頭、令和2年9月には受精卵産子雄1頭を得ている。令和3年11月に1頭の受胎が確認された。今後も慎重に飼養管理を行い、新たな産子の確保に努めていきたい。鹿兒島大学農学部附属農場では、5頭を保有し、保護している。